

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症に対するデキサメタゾン治療後の追加ステロイド治療の有効性に関する後方視的検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年3月から2021年5月までに当院呼吸器・アレルギー内科に新型コロナウイルス感染症で入院歴があり、治療としてデキサメタゾンの治療歴がある患者さん

2. 研究目的・方法

中国湖北省武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症（CoronaVirus Disease, 2019 ; COVID-19）は、2021年10月時点で、全世界で450万人以上の死亡者を出しています。ワクチンや治療薬が次々に開発、承認された現在でも、十分に病態が解明されたとはいえません。その中でもデキサメタゾンは、重症者に対する死亡率の低下が示された数少ない薬剤ですが、デキサメタゾンを使用後も臨床症状や呼吸不全が残存することがしばしばあります。そこで、本研究ではデキサメタゾン治療が終了した後、さらに追加でステロイド治療が必要であるかどうかを検討するため、対象患者さんを追加ステロイド治療の有無で2群に分け、患者背景やアウトカムの比較を後方視的に行います。

本研究は学術研究であり、患者さんのデータを利用します。患者データは病院内の診療録管理室にて「3 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから2023年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：身長、体重、血液検査結果、入院時の胸部単純X線あるいはCT検査の画像結果、使用薬剤（抗ウイルス薬、全身性ステロイド）、既往歴、喫煙歴

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門）

氏名：福田 陽佑（研究責任者）

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8532

研究責任者：福田 陽佑